

照明の部分消灯

スーパーでの演出照明の間引き事例

○ 演出照明を部分消灯(ランプを灯具から直接抜く等)することで更に節電できます。(演出照明を50%部分消灯の場合)

試算例

朝10時～夜8時の間に演出照明を消灯すると...
(延床面積2,500m²相当のスーパーの事例)

■ 節電効果: **節電効果 47万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 8.3kW
節電電力量 約 30,100kWh

■ 対策内容: 演出照明の50%消灯

■ 計算式: 節電電力(kW) = 消費電力 × 部分消灯率
節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

消費電力: 16.5kW

[(コンパクト形蛍光灯42W × 4灯式 × 79台) + (ダイクロ形白熱灯65W × 50台)]

部分消灯率: 50%

対象時間: 10時間/日(10:00~20:00)

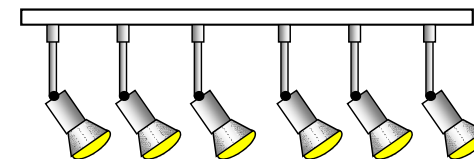
対象日数: 365日/年

ポイント

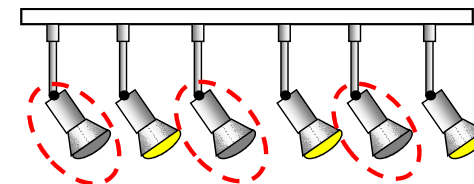
■ 照明を消灯することで室内の発熱量が減少するため、空調負荷も低減します。

■ 蛍光灯やLEDなど低消費電力の照明を演出照明として点灯し、天井照明を極力消灯することで更なる節電効果があります。

参考



演出照明
を50%消灯



「半分」取り外すことで節電

天井吊下げ型演出照明
(コンパクト形蛍光灯)

レースウェイでの演出照明
(ダイクロ形白熱灯)

演出照明を50%部分消灯(イメージ)

注) 本内容はお客様の運用状況等によって異なる場合がございます